



イオン北海道からみなさまへ

生活インフラとして、防災に関する取り組みを継続的に実施しています

ローリングストックとして利用可能なトップバリュ商品の一例

少し多めに食材等を買出し

常に一定量のストックを保存

非常用食料 050日～

先に保存した食材から日常的に消費

ローリングストック

毎日の食事が非常食に変わる！
Rolling Stock

災害時にはできる限り日常食を維持するために備蓄3日～1週間
発災時からの時間軸で食べる優先度！

日々の食事を非常に多めに買い、消費し買い直しを繰り返して非常食として備蓄すること
ローリングストック
といえます。

ローリングストックする食品の購入方法

- 常備食料が活用できる
- そのまま食べられるカット食品・加工食品
- ストックしやすくて賞味期限が長い食品
- 賞味期限を過ぎても食べられる食品の購入



2019年度
総合防災訓練の様子



1セット約100人程度（シングルベッド尺換算）を
収容可能な大型テント「バルーンシェルター」。
イオンモール釧路昭和と
イオンモール札幌発寒に配備しています。

9月1日は「防災の日」。 不測の事態に備えた取り組みの実施とともに、 防災意識を高めていただく機会を創出してまいります。

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震からまもなく2年が経とうとしています。イオン北海道では、年に一度、北海道のグループ企業とともに総合防災訓練を実施しており、有事の際の事業継続体制の確認と企業間の連携強化を図っています。また、北海道をはじめとした33の自治体等、並びに北海道ガス(株)をはじめとした5つの民間企業等と防災協定を締結しており、地震や台風などの際は、要請に基づき、食料や生活用品など生活物資の提供を行っています。

さらにイオンでは、万一の備えとして、日常食を非常食として備える食料備蓄方法「ローリングストック」を提案しています。イオンのプライベートブランド「トップバリュ」はローリングストックに適した商品を豊富に揃えており、お近くのイオンの店舗でお買い求めいただけます。イオン北海道は、道内の生活インフラとしての役割を果たすべく、これからも防災に関する取り組みを行ってまいります。



SDGs(持続可能な開発目標)とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標9、11、17の達成に貢献します。